

これからの青年会に贈るメッセージ

1. 「卒会者の皆さまへ」 全国青年会 会長 村木 宏成

2. 「これからの青年会に贈るメッセージ」

翌檜（愛知県）	藤浦 雅臣 氏	しがらき会（滋賀県）	岩永 信也 氏
広島常光福社会（広島県）	柿木田 健 氏	くだまつ平成会（山口県）	岩本 昌樹 氏
あさがお福社会（徳島県）	保岡 伸聡 氏	サマリヤ（香川県）	兼間 達郎 氏
清流共生会（大分県）	児玉 哲郎 氏	ゆうなの会（沖縄県）	玉城 宏一 氏

「卒会者の皆さまへ」

全国社会福祉法人経営青年会 会長
社会福祉法人 愛生会（秋田県） 村木 宏成



本年3月末をもって、127名の方々が50歳という節目を迎えられ、本会をご卒会される運びとなりました。改めてご卒会される先輩諸兄弟姉に対し、賛辞を述べるとともに、これまでのご活躍およびご理解、ご協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。

今期新体制となった全国青年会では、「時代の変化に適応していく福祉の担い手を育成していくプラットフォーム・ハブになること」をミッションに掲げて活動してまいりました。昨年5月に新型コロナウイルスは感染症法上5類へ移行されましたが、物価高騰を背景とする約30年ぶりのインフレ、福祉に限らず様々な業界で人材が不足している状態である「供給制約時代」が到来しており、事業運営では引き続き対応を求められているように思います。

今年度で50歳を迎えられ、卒会される皆様におかれましては、あらためて感謝を申し上げますとともに、卒会されたことでこれまでの関係が途切れてしまうことは非常にもったいないことだと考えております。

全国青年会では「タテヨコプロジェクト」として、卒会者の皆様の施設や様々な取り組みを一覧にし、そこから施設見学や講師依頼ができるようなサイトを構築しております。これまで卒会された皆様がもっている福祉の専門性や先進的な取り組みを、卒会と同時に途切れることなく、現会員や未来の会員と新たなにつながり、学ぶきっかけとして、ぜひとも「タテヨコプロジェクト」へ登録をいただきますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、卒会される皆様が今後もそれぞれの地域・法人におきまして、地域福祉の増進に努められ、ますますご活躍、ご発展されますことをご祈念申し上げ、感謝のご挨拶とさせていただきます。

タテヨコプロジェクトはこちらからご覧ください→



「出会いに感謝」

社会福祉法人 翌檜（愛知県）
藤浦 雅臣 氏



卒会にあたり、お世話になりました諸先輩や会員の皆様、事務局の皆様方に感謝申し上げます。

交流が少なかった私にとって、入会後に会った仲間との意識の差を痛感したことを、今でも鮮明に覚えております。このことが自己成長の芽となりました。青年会の諸活動から、種別を超えた多くの出会い、交わり、つながり、そして学びをいただきました。この経験は一生の宝物になり、これからの支えとなります。

積極的に活動することで見える景色、変わる景色があります。今後の皆様のご活躍と青年会の益々のご発展を祈念申し上げます。



「感謝・感謝・感謝」

社会福祉法人しがらき会（滋賀県）
岩永 信也 氏

卒会するにあたり、会員の皆様、事務局の皆様に大変お世話になり、厚く御礼申し上げます。

短い期間の全国青年会での活動でした。初めは、なんという場にきてしまったんだ。なんという熱き志のある組織なのだと、圧倒されるばかりでありました。しかし、全国青年会の取り組みは、人材不足に直面している社会福祉事業に対し、何とか次代を担う青年層の力で盛り上げていこうという、強い気持ちのある方々の素晴らしい活動なのだと実感することができました。

たくさんの出会い、たくさんの経験、たくさんの知識、全国青年会ではすべてを得ることができます。そして、そのすべてに感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後の皆様のご活躍と全国青年会の益々のご発展を祈念申し上げます。

「福祉のみらいを創る皆様へ」

社会福祉法人 広島常光福祉会（広島県）
柿木田 健 氏



この度、50歳を迎え社会福祉法人経営青年会を卒会することとなりました。次のステージに進むことになりましたが、広島県で会長を拝命し、中四国ブロックの活動や全国委員での活動、また昨年広島で行われた全国大会など、皆さんと関わり活動してきた時間は私にとって貴重な経験であり、さまざまなご縁・交流から学んだことを共有しながら支え合い成長できたことに感謝申し上げます。

近年の物価高騰や人材確保、自然災害や新興感染症など、これからの道はさらに険しさが予想されますが、チャレンジを恐れず、新しいことに積極的に取り組んでください。今後の皆様のご活躍と全国青年会の益々のご発展をご祈念申し上げます。



「青年会への感謝」

社会福祉法人 くだまつ平成会（山口県）
岩本 昌樹 氏

私が青年会を卒業する今、これまでの活動を通じてお世話になった皆さまへ、心からの感謝の気持ちを込めてお伝えしたいと存じます。皆さまのご支援、ご指導、そして温かい励ましのおかげで、私は多くの経験を積み、成長することができました。

青年会で築き上げられ、これからも引き継がれていくものは、単に組織の枠組みや具体的な活動だけではないかと存じます。それは、互いを尊重し、助け合い、共に学び、共に成長するという精神です。この精神は、私たちが青年会で培った最も大切な価値であり、これからも青年会の活動の中心にあるべきだと確信しています。

そして、次世代の皆様に対して、私は一つの期待を持っています。それは、皆様が社会福祉法人を新たな高みへと導くことです。これまで築かれた基盤の上に、皆様が更なる成果を上げ、社会福祉法人経営青年会を発展させていくことを、私は心から信じています。

「勇往邁進」

社会福祉法人 あさがお福祉会（徳島県）
保岡 伸聡 氏



先日、ある学会に呼ばれた際、著名な経済学者の方に「一番優秀な経営者とは、時代の先を読みそこに価値をつける人だ」と言われたのが印象的でした。そしてこの言葉は、今後の我々の経営にとって必要な言葉だと思います。

私が経営に必要とするものは、“人脈、情報、知恵”です。青年会入会当時、変わろうとしていた私にこれを与えてくれたのは、先輩後輩の青年会同志です。おかげで種別を問わず10年間で15事業所を開設することが出来ました。

これ以外にも報酬に繋がらない子育て支援事業にも挑戦してきました。結果、こども家庭庁の開設により、様々な補助金や加算が創設され、当法人での地域公益の取り組みが事業化されることになりました。

そんな私から一言。今こそ、何が自法人に足りないのか、何が今の自分に足りないのか、を分析してください。私も叱咤激励をされながら勇往邁進して参りました。皆さんも、仲間にも叱ってもらえる関係性を構築してください。本音で話せる仲間を作ってください。自法人の恥部を晒してください。それが未来への架け橋です。

経営は自己責任です。この貴重な横のつながりを大切にして、三本の弓矢の様に結束を固め、残りの青年会ライフを謳歌してください！



「青年会への感謝」

社会福祉法人 サマリヤ（香川県）
兼間 達郎 氏

いつの間にか卒会の歳になってしまいました。お世話になった多くの皆様に心より感謝を申し上げます。

全国青年会に関わらせて頂いたのは県会長職を受けてからでしたので、そう長い期間ではありませんでしたが、委員会活動等を通じて全国の県会長の皆さんをはじめ多くの志の高い会員諸氏と出会い、議論を交わせたことは大きな財産となりました。言わずもがな青年会活動は50歳までです。年齢制限があるからこそ出来る、斬新で思い切った青年会活動に今後とも大いに期待しています。ありがとうございました。

「ヒントは青年会にあり」

社会福祉法人 清流共生会（大分県）
児玉 哲郎 氏



卒会にあたり、全国青年会をはじめ九州ブロック青年会、大分県青年会の皆様には心より感謝を申し上げます。

法人・施設運営には多くの課題があります。地域の状況や法人規模等でその優先順位は各々で異なりますが、いずれにしてもその課題解決には情報と実践事例が必要です。青年会にはその両方が備わっており、私はここで多くのヒントを得て「この地域の福祉を守るのは自分達だ」という気概をも持つに至りました。

多くの諸先輩方、そして時間を共有し、刺激しあえる仲間に出会えたことは、私にとって本当に大きな「宝」となりました。これからもこの青年会が刺激に溢れる会であり続けますことを心から願い、皆様のご活躍を祈念いたします。




「いちやりばちよーでー」

社会福祉法人 ゆうなの会（沖縄県）
玉城 宏一 氏

沖縄の方言で「いちやりばちよーでー」とは「一度会えば皆兄弟」という意味で青年会活動を通して素晴らしいご縁に恵まれました。九州ブロックはもとより全国各地の皆様と出会い、学び、楽しみ有意義な時間を過ごすことができたことに感謝申し上げます。

今後は縦のつながりで青年会に関わっていければと思っていますのでどうぞよろしくお願い致します。



令和6年3月31日
全国社会福祉法人経営青年会